

2021年04月28日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙（行政提案、市民提案事業補助）

（宛先）  
戸田市長

団体名 戸田遊び場・遊ぼう会

代表者職・氏名 代表 長谷川 彩夏



所在地



補助種別	<input type="checkbox"/> 行政提案事業補助（テーマ名： ） <input checked="" type="checkbox"/> 市民提案事業補助	
新規・継続	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 継続（ 年目）
事業名	自由な外遊び体験による子ども達の第3の居場所づくり	
関係部署名	※応募する事業について、事前に相談した課名を記入してください。 児童青少年課	
実施期間	2021年04月01日 ～ 2022年02月15日	
確定前交付の希望	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望しない
申請中又は 交付予定の 他の補助制 度	名称	
	実施主体	
連絡担当者	氏名	
	住所	
	電話	
	Fax	
	E-mail	

《団体の概要》

団体名	戸田遊び場・遊ぼう会
ホームページ	【HP】 <a href="https://todaplaypark.amebaownd.com/">https://todaplaypark.amebaownd.com/</a> 【Facebook】 <a href="https://www.facebook.com/todaplaypark/">https://www.facebook.com/todaplaypark/</a>
設立年月日	2014年 04月 01日 設立
会員数	17人（内、議決権なし・会費なしの「見守り役」3人含む）
年会費	1200円／1年間
団体の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもも大人も生き生きと楽しく暮らせる街づくりに寄与すること</li> <li>・「あそび」の必要性、重要性を子育て世代に広め、体験、実感すること。また、それを実現するための「場」作りをすること（居場所作り）</li> <li>・子ども達と地域が関わり合うことで、街全体が活性化していくようにサポートすること</li> <li>・戸田市内に冒険遊び場の趣旨を理解し活動を実践・応援する人を増やすこと</li> <li>・将来、常設の冒険遊び場ができるような体制・協力関係をつくっていくこと</li> </ul> <p>以上、会則第2条「目的」より転記。</p>
主な活動実績	<p>2014年～2020年 彩湖・道満グリーンパークにて毎月プレーパーク開催</p> <p>2016年～2019年 戸田市児童センターこどもの国にて未就園児親子対象の「ちびっこぼうけんひろば」開催 （2016年度は年3回開催、2017年～2019年は毎月開催）</p> <p>2019年10月 台風19号の影響による冠水のため、彩湖・道満グリーンパーク閉園。そのため、プレーパークも開催休止</p> <p>2020年3月 新型コロナウイルスの影響により、こどもの国臨時休館。ちびっこぼうけんひろばも開催休止。</p> <p>2020年6月 彩湖・道満グリーンパーク全面復旧 2020年7月～ 道満プレーパーク再開 2021年4月～ ちびっこぼうけんひろば再開</p> <p>-講演会開催-</p> <p>2015年 講演会「遊ぶってなんだろう？」開催 会場：戸田市文化会館</p>

	<p>講師：日本冒険遊び場づくり協会理事 天野秀昭さん 同日、後谷公園にてミニミニプレーパーク開催</p> <p>2016年 講演会「子育てがラクになる！？プレーパークってどんなところ？」開催 会場：戸田市児童センターこどもの国 講師：日本冒険遊び場づくり協会理事 関戸博樹さん</p> <p>2017年 講演会+座談会 「ちびトーク！みんなの子育て座談会」開催 会場：戸田市児童センターこどもの国 講師：日本冒険遊び場づくり協会理事 関戸博樹さん</p>
<p>昨年度の補助金等の援助状況</p>	<p>文部科学省 「子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業」の委託事業として、道満プレーパークを実施。</p> <p>開催予定：計5回 結果： 計4回（内1回は新型コロナウイルス 緊急事態宣言により安全を鑑み、中止）</p>
<p>団体PRなど</p>	<p><b>【プレーパーク（冒険遊び場）とは】</b> 子ども達がやってみたい！ と思ったことを自由にやれる場所、大人達も「ダメ」と言わなくていい場所です。「〇〇してはいけません」と禁止するのではなく、いっしょに考えてやってみる。0歳の赤ちゃんから、中高生、おじいちゃん、おばあちゃんまで、みんなが「ここに来たらホッとできる場所」を目指しています。</p> <p><b>【事業のポイント】</b> プレーパークは単なる「子どもの遊ぶ場所」としてイベント的に事業を行っているわけではありません。子ども達や地域の人々が安心していられる「居場所」も目指しています。 埼玉県でも、貧困の連鎖の解消や地域コミュニティの再生を図るため、子どもの居場所づくりが推進され、こども食堂やフードパントリー、無料学習塾等と並んでプレーパークがあげられています。 居場所になるには、継続性のある活動が求められ、プレーリーダーの安定的な雇用や、場所の確保が必要となります。 プレーリーダーの雇用および場所の確保を市にお願いし、運営を私達市民が担当することで、安定的に「子どもの居場所づくり」をしていきたいと考えます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>

## 《事業企画書》

### 1 事業の目的・必要性

・「危ない」「汚い」「うるさい」遊びを嫌がる大人が増え、子どもが自由に遊べる場所が少ないという現状がある。また、コロナウィルスのため家に閉じこもっていた子ども達や、集団生活になじめないなどの理由で、不登校になっている子ども達も増えている。

誰もが自分らしく自由に安心・安全に遊べる場をつくり、家庭・学校以外の「第3の居場所」をつくる。

・核家族世帯の増加や地域コミュニティの希薄化、また昨今のコロナ禍で、子育て中の保護者の孤独感や不安感がより増している。

公園という一歩が踏み出しやすい場所で交流の場を作り、誰一人取り残されない地域子育てコミュニティをつくる役割の一環を担う。

・「外遊び」の必要性・重要性を子育て世代をはじめとした地域全体に広め、子ども達に外遊びの楽しさを体験・実感してもらう。

・自然の中で季節を感じながら遊ぶことで、子ども達の想像力・独創性を育み、子ども達の心身の発達を促す。また、子どもが自ら危険を回避する力を育む。

・プレーパーク（冒険遊び場）を市内の公園で継続的に開催することで居場所づくりを進め、子ども達や地域の方と関係を深めながら、困りごとを抱えている子どもや大人達の声を拾い、必要な支援への橋渡しをする。

### 2 事業を実施するに当たっての現状や課題

貧困の連鎖の解消や地域コミュニティの再生を図るため、市の施策として子どもの居場所づくりが推進されている。子ども食堂やフードパントリー、無料学習支援等、子ども達の居場所が各地に作られているが、「遊びの体験の貧困」を解消する場はまだまだ少ない。

また、「危ない」「汚い」「うるさい」遊びを嫌がる大人が増え、禁止事項の多い公園が増える等、子どもが自由に遊べる場所が少なくなっている。

特に昨今のコロナ禍で屋内に引きこもりがち子ども達が気軽に来ることができ、安心・安全に遊べる場所の確保は急務であると言えるのではないだろうか。

私達・遊ぼう会も市の施策と同じ思いを持ち、身近な公園という場で子ども達の「第3の居場所」を作りたいと活動してきたが、市民団体として持続的に活動していくには、場の確保・人的・金銭面等で限りがあり、市との協働を目指している。

### 3 事業の具体的内容

- 「道満プレーパーク」を開催する  
期間：2021年4月～2022年2月の間 頻度：月1回  
場所：彩湖・道満グリーンパーク 対象：全世代
- 「出張ちびっこぼうけんひろば（出張ちびけん）」を開催する  
日時：2021年10月頃 場所：市内公園 対象：未就園児親子  
（みどり公園課『できるかな？「公えん」でやってみよう計画』事業に提案予定）
- オンライン講演会を開催する  
11月頃 講師を招いてオンラインで子育てに関わる人に向けての講演会を企画  
※遊ぼう会のFacebookやHP、また公共施設等へのチラシ配布（児童青少年課に依頼）を通じ、広く広報・周知する。

### 4 事業の実施体制

当日の運営は、以下の構成で行うものとする。

- プレーリーダー（有償/専門職）2名 ※出張ちびけんは1名
- 運営スタッフ（会員）
- 参加者（賛助会員・非会員双方）

○プレーリーダーとは

戸田遊び場・遊ぼう会におけるプレーリーダーの役割は主に以下となるが、これだけではなく、その知見と経験から専門家として様々な役割を期待している。

- 1 子どもが安全に遊べる場づくり（専門的な視点から、危険を未然に防ぐ）
- 2 予期せぬケガやトラブルが発生した際の緊急時の対応
- 3 人と人・地域や公的機関との関わりをつなぐ専門家アドバイザー的な立ち位置

（以下、特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会HPより抜粋転記）

プレーリーダーの役割をひとことで表すと「子どもがいきいきと遊ぶことのできる環境をつくること」といえます。

子どもの興味や関心を引き出すよう、いつも遊び場を整備しています。

つねに変化する遊び場の状況に応じて注意を払い、子どもに声をかけます。

子どもといっしょに思いきり遊び、子どもが厚い信頼をよせる相手です。

ときには、子どものよき相談相手になることもあります。

ケガや思わぬトラブルにも対応します。

大人は子どもの遊びを規制しがちになりますが、そんなときには子どもにかわって子どもの気持ちを伝えます。

こうして、子どもののびのびとした成長を見守る輪を、地域に広げていきます。

<参照資料>

[https://bouken-asobiba.org/\\_assets/attach/0000/050000170427\\_144530.pdf](https://bouken-asobiba.org/_assets/attach/0000/050000170427_144530.pdf)

○運営スタッフの役割

プレーリーダーとともに遊び場を見守り、参加者を巻き込む働きかけを行う。

○参加者の役割

参加者もお客さん扱いはせず、遊び場に主体的に関わってもらうことで、ひとりで「孤育て」するのではなく、地域で見守る大人を増やす。

感染症対策については、ガイドライン「道満プレーパークで遊ぶときのやくそく」を作成し、感染症予防に留意し事業を実施する。

5 事業実施のスケジュール

月日	内 容
2021年4月18日	<p>春の草花遊び、大縄跳び、竹馬等。他、新聞紙遊び、糸電話など、使い捨てができて距離を保ちながら遊べる工夫を行う。フィジカルディスタンスを保ちながら自然の中で思い切り遊ぶ。</p> <p>運営スタッフ（無償）の運営に加え、プレーリーダー（有償/専門職）を2名配置し、安全に遊べる工夫を講じる他、子どもとその保護者の心に寄り添い、居場所となる働きかけも行う。</p>
2021年5月16日	<p>新聞紙のちゃんばら、新聞紙遊び、糸電話など使い捨てができて距離を保ちながら遊べる工夫を行う。フィジカルディスタンスを保ちながら自然の中で思い切り遊ぶ。</p> <p>運営スタッフ（無償）の運営に加え、プレーリーダー（有償/専門職）を2名配置し、安全に遊べる工夫を講じる他、子どもとその保護者の心に寄り添い、居場所となる働きかけも行う。</p>
2021年6月20日	<p>新聞紙のちゃんばら、新聞紙遊び、糸電話など使い捨てができて距離を保ちながら遊べる工夫を行う。フィジカルディスタンスを保ちながら自然の中で思い切り遊ぶ。</p> <p>羊毛フェルトのワークショップ。</p> <p>運営スタッフ（無償）の運営に加え、プレーリーダー（有償/専門職）を2名配置し、安全に遊べる工夫を講じる他、子どもとその保護者の心に寄り添い、居場所となる働きかけも行う。</p>
2021年7月18日	<p>水風船、散水ホースを使い、水のみストを出す等、水遊び中心に実施予定。熱中症対策を講じながら、フィジカルディスタンスを保ちながら自然の中で思い切り遊ぶ。</p> <p>運営スタッフ（無償）の運営に加え、プレーリーダー（有償/専門職）を2名配置し、安全に遊べる工夫を講じる他、子どもとその保護者の心に寄り添い、居場所となる働きかけも行う。</p>
2021年8月22日	<p>水風船、散水ホースを使い、水のみストを出す等、水遊び中心に実施予定。熱中症対策を講じながら、フィジカルディスタンスを保ちながら自然の中で思い切り遊ぶ。</p> <p>運営スタッフ（無償）の運営に加え、プレーリーダー（有償/専門職）を2名配置し、安全に遊べる工夫を講じる他、子どもとその保護者の心に寄り添い、居場所となる働きかけも行う。</p>
2021年9月19日	<p>棕櫚の葉のバッタ作り、虫取り、リヤカー遊び、ベーゴマ、8月と同様の水遊び等。熱中症対策を講じ、フィジカルディスタンスを保ちながら自然の中で思い切り遊ぶ。</p> <p>運営スタッフ（無償）の運営に加え、プレーリーダー（有償/専門職）を2名配置し、安全に遊べる工夫を講じる他、子どもとその保護者の心に寄り添い、居場所となる働きかけも行う。</p>

2021年10月17日	ハロウィンにもピッタリな小枝と毛糸を組み合わせたクラフト作り、リヤカー遊び、ベーゴマ、大縄跳び等。フィジカルディスタンスを保ちながら自然の中で思い切り遊ぶ。 運営スタッフ（無償）の運営に加え、プレーリーダー（有償/専門職）を2名配置し、安全に遊べる工夫を講じる他、子どもとその保護者の心に寄り添い、居場所となる働きかけも行う。
2021年11月21日	どんぐりを使った遊び、落ち葉遊び、リヤカー遊び、ベーゴマ、大縄跳び等。フィジカルディスタンスを保ちながら秋を感じ、自然の中で思い切り遊ぶ。 運営スタッフ（無償）の運営に加え、プレーリーダー（有償/専門職）を2名配置し、安全に遊べる工夫を講じる他、子どもとその保護者の心に寄り添い、居場所となる働きかけも行う。
2021年12月19日	落ち葉遊び、リヤカー遊び、ベーゴマ、大縄跳び等。フィジカルディスタンスを保ちながら秋を感じ、自然の中で思い切り遊ぶ。 運営スタッフ（無償）の運営に加え、プレーリーダー（有償/専門職）を2名配置し、安全に遊べる工夫を講じる他、子どもとその保護者の心に寄り添い、居場所となる働きかけも行う。
2022年1月16日	凧作り、自分で作った凧での凧あげ、リヤカー遊び、ベーゴマ、大縄跳び、新聞遊びや糸電話等。フィジカルディスタンスを保ちながら自然の中で思い切り遊ぶ。 運営スタッフ（無償）の運営に加え、プレーリーダー（有償/専門職）を2名配置し、安全に遊べる工夫を講じる他、子どもとその保護者の心に寄り添い、居場所となる働きかけも行う。
2022年2月13日	リヤカー遊び、ベーゴマ、大縄跳び、新聞遊びや糸電話等。フィジカルディスタンスを保ちながら自然の中で思い切り遊ぶ。 運営スタッフ（無償）の運営に加え、プレーリーダー（有償/専門職）を2名配置し、安全に遊べる工夫を講じる他、子どもとその保護者の心に寄り添い、居場所となる働きかけも行う。
2021年10月頃	<出張ちびっこぼうけんひろば：未就園児親子対象> シャボン玉、段ボール遊び、紙芝居等。コロナ禍で閉じこもりがちな乳幼児親子に初めての外遊びを体験してもらう。 運営スタッフ（無償）の運営に加え、プレーリーダー（有償/専門職）を1名配置し、安全に遊べる工夫を講じる他、子どもとその保護者の心に寄り添い、仲間づくりや居場所となる働きかけも行う。
2021年11月頃	○子育て講演会開催 オンライン（ZOOM）で講演会を開催 対象は子育てに関わっている方

## 6 事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

5月～2月（10回）の今年度の新規参加者30組（開催回数×3組）。  
Facebook等SNSを使い、また児童青少年課にも広報活動を依頼し、新規の参加者を増やす。  
ただし、昨年度はコロナ禍ということもあり、遊びにくることを控えていた方も多し。「居場所」として定着をはかるため、久しぶりに参加する方を呼び戻すことも念頭におき、目標を「今年度の新規参加者」とした。  
（4月は全員が今年度初参加となるため、対象を5月～2月とする）。  
また参加者対象にアンケートを実施。  
回収したアンケートの満足度80%以上を目指す。

## 7 今後の展望

現在は主として彩湖・道満グリーンパークで開催していますが、戸田市内の他の公園でもプレーパークを開催し、気軽にいつでも来られる環境づくりを進めたい。より多くの子ども達が参加し、外遊びの様々な体験を通じて自己肯定感を育むことを支援していきます。

今年度は、こどもの国で実施している、未就園児親子対象「ちびっこぼうけんひろば（ちびけん）」を市内公園でも開催し、地域で子ども達の成長を見守る意識を醸成していきます。

この事業は、市の施策である「子育て支援の充実」「児童青少年の育成環境の充実」を推進するために実施するものであり、地域の多世代が集う安心・安全な居場所として、市の取り組み目標に対して貢献ができると考えています。

多くの市民ニーズや事業の必要性が認められ、将来的には市の受託事業に位置付けていただけるよう公益に配慮した運営を行い、継続して居場所を確保できるよう協議いたします。

また、活動趣旨の理解者を増やし、様々な地域で居場所づくりを展開したいと考えております。

## 8 役割分担

（申請団体の役割）

プレーパークの企画・運営、子育て世帯や地域住民への居場所づくりの働きかけ

（市の役割）

広報・周知（公共施設等へのチラシ・ポスター等の配架）、申請事業の後援

（協働することの必要性、相乗効果等）

公園という身近な場所で活動を行い、行政の既存の支援で手が届きにくい層にアプローチする。

コロナ禍の新しい生活様式にあった地域の「居場所」を市民中心に作る。

広く広報活動を行うことで、新たな参加者を掘り起こし、会の運営にも携わってくれる人材を確保し、継続的に活動を行う。






《収支予算書》

【収入】

科目		予算額	内訳
補助 金・ 助成金	当補助金	331,128	
	その他	0	
自己資金		5,000	ワークショップ (500円×10人)
会費		0	
利用者負担金		36,000	参加費 (1人100円～。3,000円/回 計12回)
協賛金・寄附		0	
その他		0	
合計		372,128	

【支出】

科目		予算額	内訳
補助 対象 経費	1. 謝礼金	257,000	○プレーリーダーへの謝金  (12,000円×11回)  (12,000円×5回) 大学生 (5,000円×6回)  (12,000円×1回、事前打合わせ3,000円) ○講演会講師料 20,000円
	3. 消耗品	36,000	3,000円/月×12回 (道満11回+出張ちびけん1回)
	4. 食糧費	1,000	講演会講師へのお茶代
	6. 原材料費	5,000	ワークショップ材料 (500円×10人)
	7. 印刷製本費	12,288	告知チラシ2,400円 (白黒両面600部×2円×2) メインチラシ業者発注6,688円 (カラー3000部) 写真プリント (ポスター) 3,200円 (A3カラー40枚×80円)
	8. 保険料	20,160	イベント保険28円×60人×12回
	9. 会場費	1,380	講演会施設利用 (あいぱる460円×3時間)
	12. その他	39,300	リヤカー購入費
小計		372,128	内訳 補助金申請額：331,128 自主財源：41,000
補助 対象 外 経費			
小計		0	
合計		372,128	

